中日新聞社賞

子ねこをたすけてくれたしょうぼうしさん

6月の雨のふる日に、家の外でねこのなく声がしました。まどからそのねこをさがしましたが見つかりません。お父さんとかさをさして、さがしに行きました。ねこの鳴きまねをすると「ニャーオ」と鳴きます。見つけた場所は、用水のふたのあなに頭だけ外に出た子ねこでした。たすけようとしても、ぜんぜんぬけません。こまったお父さんは、しょうぼうしょにれんらくしました。しばらくすると、しょうぼう車がきて、三人のたいいんが、はまっている子ねこのまわりのおもいふたをとって、子ねこにせっけんをつけて体をおしたりしましたが、ぬけませんでした。さいごには、きょかをもらってふたにあなをあけて子ねこをたすけてくれました。雨の中、ビショビショになりながらも、いっしょうけんめい子ねこのいのちをたすけてくれて、とてもかんしゃしています。ありがとうございます。今では、その子ねこも家族のいちいんです。

なかがわ　のりか
中川 敬雅さん
愛知県津島市３年生